（三日夕刊）
磐城新聞
休刊日 大祭日第一第三日曜日
定價 一枚二錢 壹ヶ月五十錢 郵税拾錢
廣告料 （雜報欄一行五十錢 場所指定二十錢增）
發行兼編輯印刷人 道沼龍輔
發行所 福島縣平町田町拾六 磐城新聞社 電話五六番

今や青年奮起の秋(六)

磐城佑賢學會長 大和田豊吉

其時大使の方をいろ／＼眺めて居た五十餘りの老人があつたが何國の人かは知らないが老婆を連れて傘の端だと思つて危いのを知らないで半潰れになつて居る草葺の家から古疊一枚持つて來て與へたウヅツ**大使**は有難くうなづいて夫を受けた夫から水を持つて來た晩方になると[illegible]蒲團を一枚もつて來て與へたウヅツ大使は泣いて喜んだ吾々の樣な縁もゆかりもない者にまで日本人は親切にして與れる之は人道として[illegible]方法を講じなければならぬ斯う考へて[illegible]へ戻り外務省の職員の手傳を受けて外務省に飛んで行き第一番に米國に向つて無線電信を發した外國使臣の中では是が一番早かつたさうである

日本は大地震である大火災が續いて起り東京橫濱は全滅である至急に救護品、救助品を無制限に送くれと云ふ意味の電報を發した其電報に接して米國大統領は教書を發して國民に訴へた處が立處にして五百萬弗の金員が集つたと云ふ事である或人は之を評して一枚の古疊か米國一億二千萬人を動かしたと云つて居る私は是は誠の力だ言へ換ふれば親孝行の力が此好結果を來したものであると斷言するを憚からない斯くの如く米國にては親孝行を云ふ[illegible]

道徳を建設せんと努力せる最中に我が國に於ては二千五百年來繼承して來た道徳を放棄せんとする經濟學者否寧大馬鹿者有るに至つては實に浩嘆せざるを得ない。要するに、目下我國の狀態は政治外交其他如何なる方面を問はず實に不安の狀態である安定の出來ない狀態であ、行き詰りの狀態であると斷せざるを得ない然らば我が帝國は是にて終はれりと申すべきか今日以後は滅亡に近づきつゝありと自暴自棄すべきか否々天は大に我國人の力を試めさんがための**試錬**であると益々奮闘努力して此行き詰りの狀態を轉回せねばならぬ古歌にも

憂き事のなほ此上に積れかし
限りある身の力ためさん

と尼子十勇士の一人たる山中鹿之助は七難八苦を神に祈つた吾人大日本帝國の臣民たるものは如何にして斯かる不安の狀態に避易すべき當に大なる馬力をかけて國民總動員となつて大に有利の地點に然も至公至平の場所に進展せしめねばならぬ然らば有利の地點至公至平の場所とは何處か是が即ち我が帝國の理想として古來定められたる大道にして私は今之を縱の使命橫の**使命**二つに分ち申し上げやうと思ふのでありますが今之を申し上ぐるに先ちて獨逸國の新使命を參考までに申し上げて見ませう。今日でこそ辭職したが永年國際聯盟本部に於ける事務次長として嘖々たる名聲あつた農學博士法學士新渡戸稻造氏は斯う云つて居る曰く昨年の秋獨逸か國際聯盟に加入した折同國の外務大臣ストレーゼマン氏がシユネーヴに開いた國際聯盟總會に於て加入の挨拶を述べるといふので世界各國の人々は非常な**期待**を持つて同市に集まつて來た國際聯盟創立以來この時ほど傍聽者の多かつた事を我輩は未だ曾て見た事が無い遠方より各國の人々が來會したので會場は文字通り立錐の餘地だもなかつた、ストレーゼマン氏が演壇に登つた時は滿場水を打つた如くせきばらひ一つするものなく南洋人の云ふ一本のピンが落ちても聞へるが如く靜肅そのものであつた二千の入場者は鶴首して彼の一言一句をも聞き漏らすまじと緊張しきつて居た彼は獨逸式に一言をも苟もせざる態度を以て**準備**して來た草稿を讀み上げたが我々は彼の言を以て人類の協同の發岐點を劃するもの丶如く見做した何さなれば人も知る如く大戰爭以前の獨逸はナショナリズム一天張りである

今日の吉凶

舊七月七日
新八月四日

△一白 身分負の行ひあれば折角の吉日も凶に變ず△二黑 元氣を養ひ遲くとも健全に挑まざるに吉し△三碧 難關出に橫はるも勇氣を鼓して立つべし△四綠 奮闘半ばにして妨げられ易し注意△五黃 心を虛ふし能く人言を容れて平和なれば吉△六白 午前の滯りは午後に至り自から通遂すべし△七赤 勞少くして効多き日旅行企業入學何れも吉△八白 隆運の日增築又は事業擴張には無二の好期△九紫 大事な所まで漕ぎ付けて後力の足らざる日

講談 [illegible]

(104)

高橋掬太郎創作
布施や八郎揮毫

奥方の生害

「はッ」と清左工門は奥方を見あげた。

「それは余の儀でもありませぬが清左工門殿。お身の妻草衣殿に姙娠中と申されましたのう」

と奥方は問ふた。

「は、仰せの通りござりまする」

「じで、生み月はたしか深雪殿と同じ頃と申されたやうでありましたが？」

「は、たしか同じ月の頃かと存じまする」

「お、それで妾はお身に折入つてお頼みしたいことがありまするのぢや」

「は、仰せ如何やうにありませうとも此の身に叶ふことにござりますれば、お引受け仕りまする」

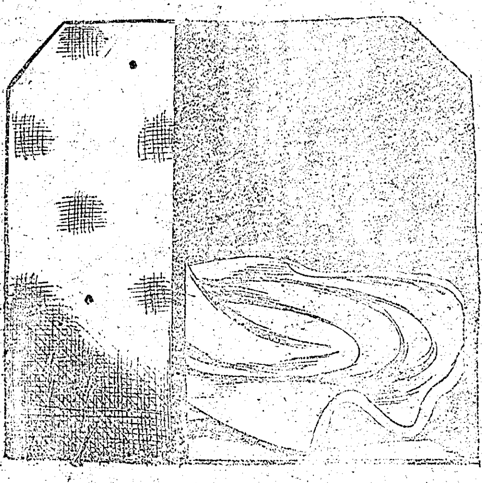
清左工門は赤心を面に現して云つた。

「それを承つて大いに安堵ではお頼み申しまするが萬一の際には、主君のお子とお身のお子とを取り替へて身代りにしては下さらぬか」

奥方はキツト清左工門の面を見つめて云つた

「我が子をお身代りに……」

「はゝッ主の身代りは武士の本懐喜んでお受け仕りまする」



忠臣篤き清左工門は言下に快諾したのであつた。

「おゝ、早速の承知辱けない」

と奥方は喜んだ。かくて其の夜の密議は終つたが、その翌朝奥方は覺悟の自刄に冷めたい白衣の姿となつてゐた。

清左工門も忠兵工も夢かとばかり驚いて駆けつけた深雪の方も亡骸に取りすがつて身も心も絶ねよとばかり泣き悲んだ。

文臺に乘せてあつた奥方の遺書には此の度の主君の御最後も元はと云へば我が父堀田忠六に助勢のためであるから亡き主君に對しても家中の人々に對しても誠に申譯がない。また主君にお別れしては生き永へて行く樂しみもないから自刄して果てるといふことが書いてあつた忠義の人々は何れも痛しい最期に涙を流した。殊に清左工門、忠兵工深雪の方の三人は主君の最期が信じさせるため、そしてお家のため犧牲となつて生害された奥方の心中を思ひやつて胸を裂かれるほど悲しんだ。昌康や早間重太夫の一味の者も表面は悲しみの色をうかべて愁傷らしく見せたが內心では厄介拂ひをしたやうに打ち喜んだのであつた。そのうちに織田方との和睦が成立し本間家は信長の旗下に從ふことになつた。また秀の方の父堀田忠六も織田方と和睦したけれど成昌の行方は杳として消息がなかつた

また深雪の方の父在原新左工門信行に救はれた使者の下瀬主水の行方も不明であつた

多年の野心を遂げて城主になつた昌康は、しばらくは宇頂天になつた我意我執の振舞が多く心ある者はみな眉をひそめ神部清左工門に義憤慷慨の氣を洩す者も勘くなかつた。けれど清左工門は奥方と誓つた通りにこれらの猛り立つ人々を抑へなだめてゐた。

そして何事にも當らず觸らずの態度を執つた、で今では上席家老とはいふもの丶名ばかりで早間重太夫が萬事を思ふが儘に振舞つた

石出忠兵工は、奥方の遺訓を膽に銘じてゐたし、また清左工門の心中もよく知つてゐるので何事もお家のためと思つて諦めてゐたがそれでも見るに見かねて猛り立つて清左工門にまで喰つてかゝることがあつた。が清左工門はよく彼をなだめてゐた、惡人輩に對する悲憤の血は清左工門も何人にも劣らぬだけ燃やしてゐる。けれど清左工門はお家のために身をいたわり命を惜しんだそして何んでも彼等の意の儘になつて昌康に二心のないやうに見せながら時期の到るを待つのであつた

廣告

[illegible]
御需めの方は
平白銀町
吉田新聞店へ
電話四十八

平町田町通り
磐城病院
電話一一四番

平町田町
高久病院
電話五一三番

仙臺高等工業學校長試驗證明
福島縣[illegible]
世界的
[illegible]

凉風自ら肌を襲ふ名篇
[illegible]
八月四日ヨリ三日間短期公開
プログラム
サリー・オニール嬢 ジヨン・パトリツク氏共演
親と子の脱線大喜劇 全七卷
[illegible]
快漢ウイリアムラツセル氏 名花エリナー・ボツトマン嬢 ……共演
曠原大冒險喜劇 全六卷
[illegible]
バツトオマレー氏主演
雪中[illegible]活劇 全七卷
[illegible]
白雪積るロツキーの國
境愛と憎惡に惱む
人間記錄の映畫
笑はぬ名優キートン君主演
百萬弗大喜劇 全八卷
[illegible]
暑さ忘れて共に笑へ……
吾がキートン君のために
本週に限り入場料
特等六〇 一等五〇 二等四〇 小人各等半額
高級常設 平館
土、日曜 學生デー

新館陳列
◇昭和中形
◇昭和式手拭中形
◇名古屋しぼり
是非御覧を願ひます
三井吳服店
平町三丁目 電話三十八番
夏物豊富取揃へ申候

金牌一等賞受領 數回
磐城國平町
草野染工場
電話三四八番
◎徒弟入用 徒弟契約ニ付テハ年明キニ際シ有利ニ御相談申上候

拜啓時下酷暑之候各位益々御健勝之段奉大賀候扨弊店儀毎々御引立を蒙り難有御厚禮申上候就きましては土用鰻大賣出致候間多少に不拘御用命御願申上候
御一人前
一 鰻蒲燒（金壹圓、壹圓廿錢、壹圓五十錢）
一 うなぎ丼（金六拾錢、金八拾錢、金壹圓也）
田町七三
壽々喜亭
（電五八番）

内科、小兒科 花柳病科 入院應需
藤沼醫院
平町紺屋町 電話平長五〇七番

鐵筋コンクリート
鐵骨組立
和洋建築
文化式建築
設計監督
土木、建築、請負業
合資會社 丸三森川組
社長 大森鎮平
東京日本橋南茅場町二〇
電話茅場町66四五二二番

貸地廣告
平町郡役所より稅務署附近の新開地に一千餘坪の貸地があります、然かも完全な土盛でありますから流失其の他の憂ひ絶對になく商店、諸工場並に高級の住宅地として最もの適地を極く安値にお貸しいたします
御希望の方は電話なり報げば社員がお伺ひして親しく御相談に應じます
小名濱商事株式會社
平出張所
電話 六〇三番 五四一番

平町紺屋町
吉田眼科醫院

三百年の古い歴史と他の模擬の出來ない獨特の芳香と色澤を有つ
ヒゲタ醬油
釀造元 銚子醬油株式會社
平町田町
特約店 廣瀨支店
電話五四番

正義非正義の闇流
來る總會に爆破
噴火山上を彷ふ
石城民政黨近況

石城民政黨では來る十四日午前十時より倶樂部に總會を開き會則の改正並に來る可き縣議戰に臨み候補者の選衡をなす事となつたが大破亂は免れないものの如く觀られてゐる、由來石城民政黨は恰も利權魔の集團の如く苟しくも幹部たるものは黨員を踏臺とし黨の勢力を

巧みに利用し以て自己を益する利權を摑得し得るほどの惡辣陰謀に長けたものならざる可らざるの感あり爲めに漆畑元吉、木田織江、田子英吉の諸氏を初め心ある人々は彼れ等の醜聞と同一視せらるゝを恐門の汚れとなし敢然絶縁して以來黨の內部は全く之れ等

利權屋の專横をほしいまゝにしてゐる、來る可き縣議戰には之れ等類を以て集るの徒が深き野心を藏し正義派を驅逐すべく既に秘かに飛躍を試みつゝあり先づその前提として來る可き役員選擧には自己黨中のもののみをして役員たらしむる慘膽であるらしい一方漆畑、木田、田子諸氏を圍む多くの黨員は永年吾々の築き上げた

民政黨を彼れ等の蹂躙に委す事は大なる恥辱であるから此の際徹底的彈壓を加へはならぬと意氣健昂たるものありて石城民政黨が積年の此の二派の闇流は來る可き十四日の總會に於て愈々爆發するらしく噴火山上に亂舞する同黨は縣議候補者選衡の如き倒底解決され可く筈なく非常に成り行きを注目されてゐる

白井農銀頭取も
熱心に盡力
商港問題の經過を
中隈課長語る

昨報の小名濱商港計劃の財政上重大關係を有する淺野翁の百萬圓寄附問題に關し正式契約の爲め半井內務部長と共に上京した中隈土木課長は二日歸廳して語る「淺野翁」は先に芝の本邸を磐城炭礦會社とで二回交渉したが[illegible]その間にも同氏が出張の留守中は

磐炭專務の倉田氏と東京埋立の專務關氏と契約內容について協議をとげた結果條件つきの下に百萬圓を寄附する事となつた磐炭社長としての淺野氏は承諾してをるが同會社として果して承諾するか否かについて本一日本社で重役會が開かれた筈で同社が同意しない場合は淺野氏個人として寄附することになつてをる勿論石炭港としての事であるから石炭積込に關しこの一切設備はさせねばならぬがそれに伴ふ埋立地の貸付その他が條件となるもので當然な條件であらうが財界不況の影響と爭議その他の創痍未だ新たなる會社がこの寄附に應ずるや否やが一寸判然してゐない、金を出す年數は

七ケ年間との希望であるが之れ等は問題ではなかろう自分は只全權大使格の內務部長に隨行した專門の委員をいつた調子だから準事務的な交渉の內容詳細は主として內務部長によつて行はれたものである、同港開發のため熱心なる白井農銀頭取も種々盡力されるわけである」

江名町長追悼
一日眞島寺で

石城郡江名町前町長中山元治氏の追悼會は河野現町長主唱のもとに一日午後一時から同町眞福寺に於て執行されたが町會議員各區長學務委員小學校職員消防防組及青年團幹部其他一般有志等二百餘名は小學校に集合してそれより墓參をなし同寺に於て僧侶五名により崇嚴なる法會を執り行はれ多數參會者追悼の詞等あり午後三時閉式した

驛のホームで賣る
賣品の取締嚴
買ふ人に對しても
當局からも御注文

平驛を初め夏季に於ける各驛の立賣飮食物に對しては絶えず檢査してゐるがそれでも往々にして不良品を發見し殊に辨當類にあつては前後のうちに養つけてゐたものを入れる等の

場合もある事とて時として變味してゐるものを發見する場合もあるので各運輸事務所の旅客掛かりに於ては此際一層嚴重に檢査する事とすべく近く通牒を發する事になつてゐるそれで當局は此際一般旅客にも注文したい事があると云つてゐるが夫れは都會地の人はさうでもないが田舍の人はどうしても列車內で求めた、すし辨當類を家に持ち歸つて食べる事があるが斯んな場合に限つて腐敗してゐたの味がかはつてゐたのと文句が出る

當業者も當局も共に迷惑する場合が多いから列車中で求めたものは成るべく直に食べて仕まふやうにして欲しいものであると云ふのである

磐城の鰹漁
愈々本調子に
磐城丸の調査

石城郡四倉沖に最近鰹群襲來し同濱はにわかに活況を呈してきたがこれが調査のため縣水産試驗場磐城丸は去る二十九日小名濱を出帆して目下航海中の處、一日同試驗場への無電報告によれば四倉東百四十カイリの沖合水溫二十六度半、水色良好で四倉橫島は千五百尾江名八左衛門一千百尾、中ノ作清左衛門五十尾、小名濱須賀が千百尾を漁獲して歸航の途につき、その他の漁船も餌付良好のため盛んに漁獲中なりとの吉報を齎したので四倉、小名濱、江名の各濱はいやが上にも活況を呈してゐる

平第一校の
臨海學校
自治銷夏法

平第一小學校では例年通り一日より小名濱海岸地福院及び小學校の一部を宿舍とし來る八日まで八日間の豫定で臨海學校を開設したが生徒は三十名で各自茶わん二つ、箸皿、ふきん、枕、毛布又は寢卷、手拭、紙、齒みがき、はがき、夏季練習帳、鉛筆手帳、雜誌、受驗準備書の類を持參し一人經費金五圓五十錢で七名の教員之れを監視指導し全く自治的の組織し休暇中の一斯間を最も有意義に送るものである

鎗と砲
（投書歡迎）

米の相場

◇米穀は國民の主要食糧にして之が販賣價格は國民生活は勿論農家經濟に取つて最も重要なる關係を有することは今更贅言を要せざる所であります、然るに近來は米價が或は暴騰し或は暴落に流れて其の規格をさい失ひ生產者、消費者共に經濟上の不安を與ふることが尠くないのは誠に遺憾とする所であります

◇政府は農業倉庫業法、米穀法を發布して、之が價格の調節を圖らむことを企畫せられて居りますが、農村農家の經濟が漸次急迫を告ぐるにつれて農家は幾分惑的に沒頭し爲に却て販賣上不利益を招來することも亦尠くないのであります、のみならず平均的に消費せらるゝ米穀を不平均的に賣出す爲に、却て暴騰暴落を惹起するが如き不都合を來すことも往々にして見る所であります。

◇而して這は農家が適當なる貯藏倉庫を有せざるにも基因することでありませうが、年末の決濟其他肥料資金等に迫らるゝ爲め、勢ひ生產當時に其の安値を忍び不本意ながら販賣米の大部分を賣り放つの餘儀なきに至るを常とします

◇故に或は程度迄價格の調節を計らんとするには動しても農業倉庫、特定倉庫等に今一段の活動を願ひ、販賣の改善は平均賣を實行して消費力に合算せしめ、一面小農家には出來得る限り金融の途を圓滑ならしめ共に經濟上の自覺を徹底的促し農村積年の弊風を脫却せられん事を希ひます（登茂）

仕事に不滿を抱き
四倉セメント製樽部の二十名が
職工騷ぐ
四倉署嚴重警戒

石城郡四ツ倉町、磐城セメント株式會社四ツ倉工業所製樽部員常傭二十數名はこの程

突如仕事が變つて臨時傭人にされてしまつたので（臨時傭人となると賞與その他手あて等はなく、非常に不利である）何とかして元通り常傭としてもらひたいと一同二十數名は一日午後大浦村上仁井田最勝院に集合し、協議をかさね、從前通り仕事を常傭としてくれと交渉することになり、二日は朝から仕事を休んで

附近大野村大字戶田阿彌陀にこもつて種々對策を協議し物すごい形勢を示して居り、一方會社當局では大狼狽を來し、善後策を協議、の結果午後四時四ツ倉工業所山崎庶務課長は外代表者と共に一同と會見し交渉中であるから二日夕刻までには解決するものと觀測されるが、萬一を慮つて所轄四ツ倉署では非番巡查を召集

警戒を怠らないが同會社初まつて最初のストライキの事とて一般からも非常な注意を惹いて居る

釣瓶落しの
平町の米價
買人皆無の姿

平町地方の正米市況は東京精算市場が全國的豐作見越に低落を辿る一方なので益々軟化し昨今にては檢査米四等二十七圓三五十錢見當未檢査米二十六圓前後といふ先月來の高値から一駄約三圓方の釣瓶落し的暴落に一時は相當の反撥あるものと期待してゐた強氣筋も斯く形勢の不利とながめて持米を投出すに至つたので市場は逐日現品豐富となり尙一層の低落を豫想され買人皆無の姿となつてゐる

戊辰役の
殉難者追悼
平安會主催

平町平安會主催戊辰役殉難者追悼會は來る八日午前十時より同町古鍛冶町良善寺に於て執行し尙當日は平安會總會を催すべく各關係者目下準備を進めて居る

「芝居」□松竹蒲田映畫、岩田祐吉、松井千枝子主演「[illegible]」野塚靖也は日比野博士門下の俊才として前途を嘱望されて居たが自分の設計した雄鵬丸が沈沒したので煩悶の日を送つて居た、或日彼がロンドンに居た頃戀を語つた龍子が訪れて來たが何故か彼は[illegible]を遂げた、彼女は卑しむべき金力に屈伏し低級な[illegible]の妻となつて居た、慘憺たる苦心の結果愈々雄鵬丸が引揚げされる事になつたが靖也の忠僕[illegible]と娘お加代の涙ぐましい程の犧牲は幾多の困難も[illegible]が來た。岩田の靖也、八雲のお加代

茄子挑果品評
好間村農會主催茄子立毛品評會は三日同村で赤井村農會主催排果品評會は四日赤井驛前で開催する

夏井村の桑園に
害虫益々蔓延
土壤の改良を要すと
郡農會で奬勵

石城郡夏井村の桑園に最近蕊止玉蠅が發生し被害五町歩に達し益々蔓延兆あるので郡農會指揮の下に豫防對策を構じてゐるが直接豫防方法は極めて手數を要し芝の效果なく且つ害虫發生地が十質壞さに多く砂質地に尠なき改土質の改良を圖つて間接に豫防するより外に方法がないので郡農會では其の方面の改良方獎勵中にある

財務協議會
平稅務署管下の財務協議會

勿來思想講演
講師は今村書郎氏

石城郡勿來町の有志は近來の思想界がとみに惡化せんとしつゝある現狀を憂ひ之れが善導を圖らんと各種の方法を講究して其實行に當つてゐるが來る十九日は舊盆十六日にて一般に休業となるので當日を利用し國學院大學の今村時郎氏を聘して思想善導講演會を同町小學校に開催すると

第六回 少年庭球大會
來る九月下旬盛大に
優勝旗新調整ふ

本社主催、平庭球倶樂部後援郡下小學校庭球大會は昨年の第五回に於て優勝旗は好間村小學校の手に歸したので本社は本春來三井吳服店に依賴して優秀なる優勝旗を新調製作中の處いよ〳〵整つて來る九月下旬（日時は追つて發表）盛大に擧行する事となり各種の準備に忙殺されてゐる

磐城新聞社

平簡閱點呼
けふ第一校庭で

平町の昭和二年度陸軍簡閱點呼は既報の如く今三日午前七時から平第一小學校校庭に於いて執行官佐藤少佐に依つて執行されたが當日の受點呼者三百五十名成績は概して良好であると

鹽屋岬視察
福島電の一行が

福島電燈株式會社の女事務員一同は來る六日正午福島驛出發本郡豐間村の鹽屋崎燈臺を視察することに決定したが、これが案內役兼監督役は前石城郡主席書記として腕を鳴らした電協東北支部の武井書記長で先づ此の人ならばよく案內が出來るだらうと女事務員連大喜び

井口正逮捕
郡內を荒した
松原から平へ

新潟縣南魚沼郡六日町前科二犯井口正（三二）は去る六月中石城郡北好間推木平坑夫長屋小室三藏宅に浸入銀側懷中時計一ヶ衣數數錢現金其の他百餘圓を竊取した上人妻を誘拐し逃走茨城縣秋山炭礦に夫婦氣取りで潛伏中松原警察署に逮捕され二日平署に引渡され取調中である

給仕募集

男子十六、七才位身体强健にして自轉車に乘り得る市內居住者一名を募集す給料其の他委細面談希望者自筆履歷書持參本人來社あれ

磐城新聞社

仙臺屋の賊
昨夜深更に
平署犯人嚴探

平町四丁目仙臺屋魚店へ昨二日夜何者か忍込み賣溜金約三四十圓を竊取されてある今朝發見驚ろいて平署に屆出たので平署では刑事數名が目下犯人の嚴探中である

明日の天氣豫報

本日正午の溫度　七五度

南東の風　曇

（小名濱測候所發表）

紅燈街

新田町山形家から「千代龍と云ふ綺麗ところが出た、極く氣ざくな竹を破つた樣な若いものには珍らしい座敷もよく藝もよし是非ともお贔負下さい

平町南町
上田外科醫院
電話一二九番

謹啓釋直溫今年は新盆に相當り居り候へ共提灯及金品等の御惠投は一切御辭退仕候間乍失禮以紙上御通知に替へ申上候

平町字新川町
阿部直記

惠琮院今回新盆に相當り候處生前の遺志も有之提灯其の他一切の御惠與を御辭退仕り候

平町二丁目
鈴木新男

耳鼻咽喉科專門
入院隨時（自炊の便あり）
大和田醫院
平町南町（電一七〇番）

外科、耳鼻咽喉科
內科、泌尿器科
X光線科
外科
赤心堂病院
平町字田町
電話四七五

倘賢院釋昭文葬送の際は多大の御香奠を賜はり且つ炎暑の際にも拘らず御會葬下され御芳情誠に有り難く奉存候御蔭樣にて葬儀萬端滯りなく相濟み候條略儀ながら紙上を以て謝意を表し候
追て忽卒の際に有之葬儀通知洩もこれあるやに聞き及び候へども右は惡しからず御用捨下され度候
昭和二年八月三日
男　喜文
親戚　一同
友人　一同
磐城高等女學校
同　校友會
同　同窓會